インフルエンザ(2026 年第 43 週)疫学情報

《コメント》

2026 年第 43 週の定点当たり報告数は 9.49(患者報告数 35,440)となり、前週の定点当たり報告数 9.08 よりも増加した。都道府県別では愛媛県(22.82)、沖縄県(17.39)、兵庫県(15.02)、北海道(14.60)、埼玉県(13.65)、鹿児島県(11.74)、新潟県(11.40)、岩手県(11.12)、千葉県(11.10)、青森県(10.94)、宮城県(10.80)、長崎県(10.80)、山口県(10.52)、栃木県(10.06)、富山県(10.02)、福岡県(10.00)の順となった。全国 47 都道府県中、27 都道府県では前週の報告数よりも増加し、20 都道府県では前週の報告数よりも減少した。

基幹定点医療機関から報告された、インフルエンザによる入院報告数は 931 例であり、前週(984 例)から減少した。47 都道府県から報告があり、年齢別では 1 歳未満(23 例)、1～4 歳(111 例)、5～9 歳(120 例)、10 代(58 例)、20 代(6 例)、30 代(4 例)、40 代(13 例)、50 代(38 例)、60 代(79 例)、70 代(179 例)、80 歳以上(300 例)であった。

国内のインフルエンザウイルスの検出状況をみると、直近 5 週間(2026 年第 39 週～2026 年第 43 週)では、AH1pdm09 が 154 件(96%)、AH3 亜型が 3 件(2%)、B 型が 3 例(2%)であった。

詳細は国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイト(https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/article/influenza/article.html)を参照されたい。